



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



先週、「児童会引き継ぎ集会」・「6年生を送る会」を実施！

－ Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) －

先週月曜日（2月20日）、「児童会引き継ぎ集会」が行われました。児童会役員、各委員会委員長、なかよし班リーダーによる振り返りがありました。子供達はそれぞれに自分の思いをしっかりと伝えていました。6年生にとっては、思い起こせば去年の2月の引き継ぎ集会を終え、4月を迎え、一年をスタートさせました。振り返りを考える中で、その頃のことを懐かしく思い起こされたことでしょうか。うまくいくのか、自分で大丈夫か、みんなはどう思うのか、等々、それこそ不安な気持ちでいっぱいだったことと思います。6年生の子供達がこの一年、自分の仕事、役割を通して学んだことはたくさんあることでしょうか。よりよい中番小学校を創る為に、楽しいなかよし班にする為に、自分ができること、しなければならないことを考え続けたはずです。振り返りの中で、ある子供は協力すること、ある子供は常に意識を高く持つこと、ある子供は落ち着いて行動すること、ある子供は体力作りの重要性、ある子供は挨拶の必要性、ある子供は不安に押しつぶされそうな気持ちを乗り越えたこと、ある子供は小さい学年への指示の出し方、ある子供は自分の仕事にやりがいを見出したこと、等々、それぞれの思いがそれぞれの言葉で綴られていました。これはとても素晴らしいことだと思います。そして、いよいよ児童会旗が引き継がれました。以前、中番小学校の児童会旗についてはお伝えしておりましたが、**今年もエンジの生地**にしっかりと歴代の児童会一人一人の名前と共に令和4年度児童会の一人一人の名前が刻まれました。

また、先週金曜日（2月24日）、「6年生を送る会」を実施しました。子供達の活動は、いつ見ても、とてもいいものですね。あったかい気持ちに

なります。朝、とても冷え込んでいました。でも、体育館はとてもあたたかい雰囲気に包まれ「6年生を送る会」を実施できました。2月の終わり、3月の始めは、どこの小学校でもこの「6年生を送る会」を行っているとします。保護者の皆様も思い出があるのではないのでしょうか。どの学年も、どんな形で、どのようにしたら、6年生に「お祝い」「感謝」「応援」の気持ちを届けられるかを一生懸命考えたものと思います。お笑い、ダンス、寸劇、思い出話、お礼の言葉等、6年生への思いを様々な形で、自分達の心のこもったプレゼントを届けていました。6年生からもクイズやお礼の言葉がありました。6年生にとっては、昨年2月にこの「6年生を送る会」の仕事・役割を引き継いでから1年が過ぎました。自分達がこの中番小学校を導いていくのだという強い気持ちを持って、この「6年生を送る会」の運営に臨んだことでしょうか。あれから一年が過ぎた訳です。自分達が思い描いた中番小学校となったのでしょうか。私も、終わりに話をする時間がありましたので、次のようなことを6年生に話しました。幼かった6年前、**今、身も心も共に立派にしました。卒業、おめでとう。**そして、この一年間、6年生は、「見えないところで一生懸命頑張る姿」は、とても立派でした。「自分の為ではない、自分以外の誰かの為に、ただひたすらに一生懸命、黙々と頑張る」、その役割・責任をしっかりと果たすことができたということは、本当に素晴らしいことだと思います。本当にありがとうございます。今、6年生の目の前には、卒業が、そして、中学校という新しい世界が、舞台が、広がり、皆さんを待っています。まだ見たことのない、新しい世界を前にした時、誰も不安や心配がつきものです。でも、心配ばかりしていても、不安がっていても、何も始まらないのです。思いっきり、新しい世界に飛び込んでいく勇氣、強さも必要です。そして、自分の思いや意志とは関係なく、辛いことや苦しいことがあったとしても、決して折れることなく、しなやかに受け止めること、そのしなやかさと強靭さが大切で。中学校でも自分らしく頑張りたいと願っています。